令和２年度全国科学館連携協議会北海道ブロック会議

（兼第２回北海道青少年科学館連絡協議会館長会議）概要報告

１　会議名

令和２年度全国科学館連携協議会北海道ブロック会議

（兼北海道青少年科学館連絡協議会　第２回館長会議）

２　実施形態

書面及びメーリングリストによる情報交換

３　日程

協議題の募集	令和２年８月 25 日～9 月８日
調査票の記載	〃　9 月 30 日～10 月 23 日
調査票（回答集）の送付	〃　11 月８日
メーリングリストによる意見交換	〃　11 月８日～12 月 10 日

４　参加者

出席状況：連携協北海道ブロック加盟館 16 館中 14 館

旭川市科学館「サイパル」、厚岸町海事記念館、岩見沢郷土科学館、小樽市総合博物館、帯広市児童会館、釧路市こども遊学館、札幌市青少年科学館、滝川市こども科学館、苫小牧市科学センター、北網圏北見文化センター、北海道立オホーツク流氷科学センター、室蘭市青少年科学館、余市宇宙記念館、稚内市青少年科学館（五十音順）

５　会議内容

各館の上半期の事業報告書と調査票を各館に提出していただき、それをもとに情報交換を行った。主な情報は以下のとおり。

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策の取り組みについて

特に事業を行う上での対策について、各館の取り組みを紹介しあった。

多くの館では大規模事業の廃止、マスクや消毒の徹底、換気、定員の縮小などの対策を設けていた。また、観望会で紙コップに穴を開けたものを使って望遠鏡のアイピースを覗いてもらうなど、科学館らしい事業の対策も紹介された。

日本未来館より、「日本科学未来館 COVID-19 対策マニュアル」や「手洗いの効果」ポスターデータ提供などの情報提供をいただいた。

(2) 展示物のリニューアルについて

加盟館の多くは展示物が老朽化しているため、展示物の更新に関する情報交換を行った。

・経費がないため老朽化した展示物を撤去できない場合、木材で囲むことで展示「台」として使用しているなどのアイディア。

・各館で取引している展示物の制作・保守業者の情報について。

・展示物の入れ替えで廃棄展示物が出る場合など、展示物の譲渡の可能性。

リニューアルを予定している館と譲渡を希望している館で、後日、電話でやり取りを行ったが、廃棄展示物はすでに老朽化が激しいことや運搬などに課題があるなど、現実的な話し合いまでには至らなかったようだ。

5　その他

北海道ブロックでは、冬期の道内移動が困難なためブロック会議を毎年秋に開催をしているので、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた今年度については、どのように開催すべきかを夏ごろより加盟館と調整を行った。その際に、開催手段の一つにオンライン開催を検討したが、加盟館で対応できる館がほとんどいなかったため、書面による情報交換をメインに補助的にメーリングリストで意見交換を行う仕組みとした。

今回の書面会議では、メーリングリストでの意見交換はほとんど行われなかったが、各館で個別に電話などでやり取りがあったようだ。次年度以降も、加盟館の招集が難しい状況が続く可能性も高いので、オンライン会議も含めて再度、検討をしていきたい。